

# 報道された広大

## 六月

- # 中国論壇「旧基準では危険性高い」—工学部鳴津孝之教授(中国、6・17)
- # 「安楽死」問題 広大医学部では一本格講義は98年から、踏み込めない：講師 時間足りない：学生(毎日、6・20)
- # 講座教授選の再選考求める 広大歯学部(毎日、6・20)
- # 学生の自宅学習「1時間未満」6割—広大1・3年生対象に調査、専門書も敬遠傾向(中国、6・21)
- # リフトバス 来月初登場 広島駅—広島大病院—ステップ60%昇降、車いすでの乗車手助け(中国、6・21)
- # 正論「教育界におけるパブルの後遺症、改めて問われる望ましい個性 新堀通也(名誉教授)(産経、6・29)
- # 講座を二分：手術も延期—広大歯学部 岡本講師、教授に就任(中国、7・2)
- # である—終わりよければ—広島大学助教授 佐藤正樹(中国、7・3)
- # 浴衣自慢集まれ！ 広大で6日に「まつり」—熱気球試乗や露店も(中国、7・3)
- # 養護施設園長、教壇に—広大ボランティア講座(読売、7・5)
- # おすすめBOX—広大合唱団が東広島初公演11日(中国、7・5)
- # 浴衣の君探す夏祭り—広島大学生と市民交流(中国、7・7)
- # 環境バイオ 産官学連携—東広島で研究会(中国、7・9)
- # 松枯れ防ごう 活力剤を空散—「生態系壊さぬ」佐伯で初の実験、広大中根教授とメーカー(中国、朝日、7・16)
- # 舟橋喜恵教授ら相談員、ウクライナへ—チェルノ被曝者実態を調査(中国、7・16)

- # ストレスに悩む先生増加、昼も夜も気が休まらない生活続く—生徒指導、職場の人間関係：無力感で出勤拒否も 広島大など相談室開設(中国、7・16)
- # 広島大で成人間肝移植、2人の状態は安定(中国、読売、7・17)
- # 肝移植の女性 安定した容体(中国、中国、読売、7・17、7・18)
- # 子どもに「生きる力」を—広島県NIE推進協議会長・広島大学校教育学部助教授 小原友行(中国、7・18)
- # 夜間の車通行規制 暴行・恐喝続発の広大キャンパス、来月から入り口5カ所にポール(中国、7・18)
- # 合格発表は番号だけ 広島大(中国、読売、7・19)

- # ひとりとき人—不安抱える妊婦の力に 広島大学留学生ルルデス・ロサリオ・エレラさん(中国、7・18)
- # 高校生に伝える化学研究の魅力—広島大で見学会(中国、7・20)
- # 今秋から広大 短期留学制度を新設—協定校と単位相互認定(中国、7・23)
- # 農業の役割を消費者ら論議—広島大でシンポジウム(中国、7・24)
- # 低線量被曝 熱心に討議—広島で国際シンポジウム(中国、7・24)
- # 肝移植女性順調に回復—広大病院 一般病棟に移る(読売、7・24)
- # ひと立ち話—被爆建物の保存へ署名—医学部四年 加太周さん(中国、7・23)
- # あす広大と京大 マンドリン共演—大和(中国、7・23)
- # 広大の研究へ資金援助きよう 広島で財団設立発起人会(中国、7・31)
- # 科学と化学 身近に体験—広大で県内高校生(読売、7・31)

- # 被爆前の広島CG再現—平和な街の風景 核の恐ろしさ告発 広大杉本助教授(読売、8・1)
- # モノづくり自由に挑戦—広島大が工房(中国、8・2)
- # 若者ら飲んで泳いで大騒ぎ、小学校プール深夜に侵入—近所から苦情相次ぐ、父母や教師「衛生面心配」—東広島(中国、8・2)
- # 広大医学部でポヤ(中国、8・5)
- # 「水」と「日本語」—広島大公開講座—受講生を募集(中国、8・3)
- # 鎮魂と継承 三万七千八十五編—「原爆手記」宇吹・原医助教授が総目録、ヒロシマ7割扱う 被爆地以外記録化に力(中国、8・6)
- # 明日への発掘—平和を探る考古学、国史跡基準広げたドーム—潮見浩・広島大名誉教授(中国、8・6)
- # 千年前にM6.5地震—己斐断層で市調査委「周期知るカギに」—委員長—中田高文学部教授(読売、8・6)
- # ベ斯塔ロッチ賞 推薦募る—広島大教育学部# 物作りの喜び知って—広島大 大学生工作室を設置(読売、8・13)
- # 少ない電力で半導体高速起動、広大が新技術開発—工学部広瀬全孝教授ら(読売、8・15)

## 編集後記

教育は国家百年の礎を築くといえます。現在日本中で教育の危機が叫ばれており、この国の将来を憂えているのはどうも私一人ではないらしい。広島大学はこれまでも多くの卒業生を教育現場に送り出してきたし、在学生の中には教育者を目指して本学を志望した人もいよう。

今号は広島大学における教養的教育の種々の試みを紹介し、教育の現場にいる人(特に大学教官)の参考になればと思いい特集を組んでみた。教育とは決して上から授けるものではなく、その効果の大部分は受け手の感受性に依存しているが、日本人の教養はどうあるべきかという重い宿題が残った。(第28期広報委員会委員長 安藤正昭)

## 広大フォーラム第28期3号

- 編集 広島大学広報委員会  
 発行 広島大学同窓会連合会  
 (広島大学広報委員会の許諾を得る)  
 住所 広島市中区東千田町1丁目1番89号  
 電話 (082)241-1221 内線3539  
 FAX (082)242-1561  
 E-mail koho@ipc.hiroshima-u.ac.jp  
 印刷 ㈱ニシキプリント  
 広報委員 安藤正昭(委員長・総合科学部)  
 成定 薫(副委員長 大学院国際協力研究科)  
 越智 貢(文学部)  
 森 敏昭(教育学部)  
 若元 澄男(学校教育学部)  
 岡本 友子(法学部)  
 長尾 伸一(経済学部)  
 竹野 節夫(理学部)  
 田中 義人(医学部)  
 栗原 英見(歯学部)  
 松尾 彰(工学部)  
 岡本 敏一(生物生産学部)  
 渡邊 敬光(原爆放射能医学研究所)  
 吉田 二美恵(附属図書館)  
 西田 正(総合科学部)  
 中田 高(文学部)  
 加登 基二(総合情報処理センター)  
 佐伯 育郎(附属中・高等学校)